

アンケート結果反映箇所一覧

アンケート結果

成果目標等

資料6ページ
問3 回答全体
（「グループホームなどの地域生活を送る上での地域資源が不足している。」と「本人の高齢化や重度化が進んでいる。」という選択肢が上位に入っていることから）



成果目標① 施設入所者の地域生活への移行
3 目標達成に向けての取組
○地域における居住先の確保:グループホーム事業所数の増
○障がい者の重度化・高齢化に対応する支援員のスキルアップに向けた研修等の実施について検討

資料14ページ
問6 上から5番目の回答
様々な機関が連携して地域支援チームを構築し、各自が担うべき役割の分担・連絡先を明確にし共有しておく必要がある。



成果目標③ 地域生活支援の充実
3 目標達成に向けての取組
本市と基幹相談支援センターが連携して必要な取組を実施するとともに、自立支援協議会各部会の活動を通じて、部会員間、関係機関、高齢者分野の専門職等との連携を強化することにより、地域生活支援体制の充実につなげる。

資料14ページ
問7 一番上の回答
就労後のサポート体制を充実させ、企業側の不安や疑問を解消する必要がある。



成果目標④ 福祉施設から一般就労への移行等
3 目標達成に向けての取組
就業後の障がい者の職場定着支援体制を充実させることにより、雇用する側の不安感を低減し就業先の増加につなげる。

資料15ページ
問8 上から6番目の回答
児童発達支援センター間の相談支援力に差異が見受けられるので、一定のレベルまで高めていく必要があると思う。



成果目標⑤ 障害児支援の提供体制の整備等
3 目標達成に向けての取組
(1)児童発達支援センターの設置～本市の実情に応じた、センターとしての機能の発揮の仕方について検討を進める。

資料16ページ
問12 回答全体
（意思決定支援ガイドラインを知らない事業所が一定程度存在していることから）



成果目標⑦ 障害福祉サービス等の質の向上
3 目標達成に向けての取組
利用者が真に必要とする障害福祉サービス等が提供されるよう促すため、「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」の普及啓発に取り組む。

資料18ページ
問13 回答全体
（数値が大きいものの中から、運営に当たって施設整備が必要と考えられる事業種別を選定）



成果目標のほかに本計画において目指すこと
1 旭川市障がい者福祉施設等整備方針
○生活介護及び共同生活援助の施設整備を推進
○短期入所の施設整備を推進

資料4ページ
問2 回答全体
（「支援員の確保」と「報酬単価の低さ」の数値が大きかったことから）



成果目標のほかに本計画において目指すこと
2 障害福祉サービス事業所等における担い手不足対応
本市としても何らかの対応を行う必要があると認識しており、報酬を含めた雇用環境の向上や働きやすい環境づくりなど、担い手不足解消に向けた先進事例を研究し、効果的な施策構築が図られるよう努める。

資料16ページ
問11 一番上及び一番下の回答
業務内容に照らして報酬単価が低すぎ事業として成り立たない、増額すべきである。現行制度では一人で多くの利用者を抱えざるをえず、報酬に反映しない雑事も膨大に発生し相談支援専門員が疲弊している。
即刻、他の中核市を模倣した取組を実施すべき。